

## CAE がここまで、車体構造を進化させた!

日時：2010年2月23日(火) 10:00~17:20

会場：工学院大学 5F A-0514 教室  
(新宿西新宿 1-24-2)

主催：(社)自動車技術会

企画：構造強度部門委員会

協賛：(社)日強化プラスチック協会・(社)計測自動制御学会・  
(社)電気学会・(社)土木学会・(社)日本機械学会・(社)日本建築学会・(社)日本航空宇宙学会・(社)日本材料学会・  
(社)日本設計工学会・(社)日本船舶海洋工学会・(社)日本鉄道技術協会・日本複合材料学会

定員：80名

参加費(消費税込・テキスト1冊込)：

正会員 10,500円 学生会員 3,150円

賛助会員 22,050円 一般 31,500円

協賛学協会の会員 22,050円

2009年度に開催するシンポジウムの正会員参加登録費を15,750円から10,500円に値下げしました。

懇親会費：5,300円(消費税込み・会員資格問わず)

申込方法：次のいずれかの方法でお申込み下さい。

① インターネットからの申込み：

「イベントカレンダー」

【URL】 <http://www.jsae.or.jp/calendar/>

「シンポジウムページ」

【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2009/scdl.php>

② インターネットをご利用できない方：

シンポジウム名・参加者名・連絡先住所・電話番号・  
会員番号(該当者のみ)を明記の上、E-mail, Fax または郵送にて下記宛お送り下さい。

申込先：102-0076 千代田区五番町 10-2

(社)自動車技術会 技術交流グループ

E-mail: [sympo@jsae.or.jp](mailto:sympo@jsae.or.jp) Fax. 03-3261-2204

申込締切日：2010年2月16日(火)

申込締切日以降も空席がある場合は受付けます。

申込キャンセルについて：

申込締切日まで：キャンセル料は発生しません。ご入金済の場合は、送金手数料を除き返金いたします。  
申込締切日翌日以降：ご出欠に係らず参加費全額をお支払いいただきます。開催終了後、テキストを送付いたします。

<参加のおすすめ>

『CAE がここまで、車体構造を進化させた!』と題し、近年における車体構造の急速な進化に、CAE がどのように貢献してきたかを各社現場の立場から I) 製品開発、II) 車体開発ベンチマーク という観点で発表いたします。基調講演は、次世代スーパーコンピュータの開発を推進されている、『計算科学研究機構の現状及び将来製品開発にどのように貢献できるか。』をご講演頂く予定です。多くの方々の積極的な参加をお待ちしております。また、懇親会により講演者の方々との交流会も企画しております。最新の CAE 技術と各社車両開発の意見交流には、またとない機会です。シンポジウム同様、奮ってご参加いただけることを期待しております。

構造強度部門委員会委員長 萩原一郎

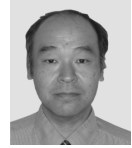
(構造強度部門委員会)



委員長  
萩原一郎



幹事  
田村健司



幹事  
水野良造

\*技術者育成の要素を持ったシンポジウムを技術レベルにより技術者育成講座として認定しています。Standard Course：基礎、Intensive Course：中級、Professional Course：上級

プログラム：

10:00 開会挨拶 構造強度部門委員会委員長

東京工業大学 萩原一郎氏

司会：堤 健二郎氏(ダイハツ工業株)

【I. 基調講演】～将来 CAE が導く 車体開発の進化～

10:05 計算科学研究機構について

(独)理化学研究所 平尾公彦氏

【II. 製品開発 CAE】～CAE による製品開発の進化～

10:50 完成車悪路走行入力予測技術

三菱自動車工業株 山本典史氏

11:15 効率的な車体振動騒音低減検討手法の紹介

(株)エステック 望月隆史氏

11:40 超コンパクトボデー”IQ”開発における CAE の活用

トヨタ自動車株 村司真生氏

12:05 昼休み

【III. 車体開発ベンチマークへの取組み I】

～CAE による車体構造の進化～

司会：岡崎 悟氏(株)本田技術研究所)

13:05 アルファード/ヴェルファイアの車体構造

トヨタ車体株 長坂芳崇氏

13:35 新型エアロクウィーン&エアロエースの開発

三菱ふそうトラック・バス株 有松東嗣氏

14:05 HONDA NEW INSIGHT の車体開発

(株)本田技術研究所 松浦範和氏

14:35 新型ワゴの車体構造 日産自動車株 和田光司氏

15:05 休憩

【IV. 車体開発ベンチマークへの取組み II】

～CAE による車体要素技術の進化～

司会：篠原啓二氏(トヨタ自動車株)

15:15 アルミ破断に関する基礎特性調査と CAE への適用

トヨタテクニカルディベロップメント株 西村 律氏

15:45 パワースライドドア開発における CAE 活用

アイシン精機株 高木 崇氏

16:15 衝突性能に及ぼす材料特性と形状の影響

住友金属工業株 中澤嘉明氏

16:45 高性能 FRP クラッシュボックスの開発

—構造用 FRP WG 活動報告—

京都工芸繊維大学 横山敦士氏

17:15 閉会挨拶 構造強度部門委員会幹事

トヨタテクニカルディベロップメント株 田村健司氏

17:40 懇親会 <講演者と参加者との技術交流の場>

19:40 終了

\*プログラムは講師、会場の都合などにより予告なく変更となる場合があります。